



2025 年 11 月 14 日

各 位

上場会社名 グローム・ホールディングス株式会社
代 表 者 代表取締役社長 菅 原 正 純
(東証グロース・コード 8938)
問 合 せ 先 経営企画部部長 太 田 さ お り
(TEL 03-5545-8101)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025 年 5 月 15 日の「2025 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました 2026 年 3 月期通期の連結業績予想および期末配当予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2026 年 3 月期通期連結業績予想の修正 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	2,365	84	74	46	5.15
今 回 修 正 予 想 (B)	2,154	22	△298	△405	△44.84
増 減 額 (B - A)	△210	△61	△372	△452	—
増 減 率 (%)	△8.9	△73.5	—	—	—
(ご 参 考) 前 期 実 績 (2 0 2 5 年 3 月 期)	2,043	△46	△53	70	7.82

注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

(2) 修正の理由

医療業界全般においては、人件費、材料費、光熱費などの上昇などにより、多くの医療機関で医療収支が赤字になるなど厳しい経営環境が続いております。地域医療に関しては、医療機関の撤退や休廃業のリスクが高まる一方で、経営維持・再編に関するコンサルティング需要は一定程度あるものの、当社グループとしても慎重に案件を進めている状況です。

このような環境下、当社グループの医療関連事業において、新規アライアンス先の獲得や新規業務委託契約の締結においては、一部遅れは生じているものの、概ね当初計画どおりに進捗しており、一方、医療器機等販売事業においては、仕入・販売面で苦戦を強いられております。

これらの結果、当社グループの連結売上高は、期初計画比で約8.9%の減少となる見通しです。これに伴い、営業利益および経常利益についても同様に当初予想を下回る見込みです。

さらに、2025年6月30日付適時開示「持分法適用関連会社の異動（株式譲渡）及び特別損失の計上に関するお知らせ」にて公表のとおり、当社が保有していた株式会社DAホールディングスの全株式を譲渡したことに伴い、第1四半期において397百万円の特別損失を計上しております。

その後、同社の第2四半期決算の確定により重要な事象が判明したことに伴い、持分法による投資損失（営業外費用）313百万円および関係会社株式売却損（特別損失）83百万円をそれぞれ振替計上しております。

これらの影響を反映し、親会社株主に帰属する当期純利益についても、上記のとおり業績予想の修正をいたします。

2. 配当予想の修正

（1）配当予想

	年間配当額（円）		
	中間期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭
前 回 予 想	2.00	2.00	2.00
今 回 修 正 予 想	0.00	0.00	0.00
（参考）前期連結実績 （2025年3月期）	2.00	2.00	2.00

（2）修正の理由

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営上の重要課題の一つと位置づけており、業績動向、財務状況、内部留保の充実等を総合的に勘案のうえ、安定的かつ継続的な配当の実施を基本方針としております。

しかしながら、2026年3月期の業績につきましては、「1. 業績予想の修正」に記載のとおり、売上高および営業利益が当初予想を下回り、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも損失の見込みであります。

業績の見通しおよび財政状態等を総合的に勘案した結果、誠に遺憾ではございますが、2026年3月期の期末配当につきましては、無配とさせていただきます。

今後は、収益性および財務基盤の改善に向けた事業運営に一層注力し、早期の業績回復と株主還元再開を目指してまいります。

（注）上記の業績予想および配当予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績および配当は、今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上